

本の新着情報

『子どもの権利ってなあに?』

1989年に国連で「子どもの権利条約」が採択された。条約は、水や食べ物、家、教育、医療を受ける権利、子どもにとって危険で有害な行動から守られる権利、家族や地域、文化的な生活の一員として認められる権利など、54の条文で構成されている。本書は、このような権利を子どもにもわかりやすい言葉で説明した絵本。国や性別などに関係なく、すべての

子どもたちが持つ権利を色鮮やかなイラストとともに伝える。

●『子どもの権利ってなあに?』

アラン・セール 文、オレリア・フロンティ 絵、福井昌子 訳、反差別国際運動(IMADR) 監訳/解放出版社 2,750円(税込み)

読者
プレゼント
詳細は
p.38へ

『外国にルーツを持つ女性たち 彼女たちの「こころの声」を聴こう!』

日本には約300万人の“外国にルーツを持つ人”が暮らしている。本書は、そのなかでも地域で暮らす外国人女性に焦点をあて、著者が日本語学習会や国際交流協会などで出会った人たちの声をまとめたもの。日本人男性と結婚した女性や、日系ブラジル人やペルー人ほか、文化や言葉の壁などさまざまな問題を乗り越えて地域

社会の一員として活躍している女性たちから、多文化共生社会のリアルな姿が見えてくる。

●『外国にルーツを持つ女性たち 彼女たちの「こころの声」を聴こう!』

嶋田和子 著/ココ出版 1,980円(税込み)



読者
プレゼント
詳細は
p.38へ

『カカ・ムラド~ナカムラのおじさん』

アフガニスタンで支援活動をしていた医師の中村哲さんが銃弾に倒れてから1年——本書はその功績を後世に伝えるために現地で行われた絵本の日本語版だ。アフガニスタンでの活動をもとに書かれた「カカ・ムラド」と、中村さんが登場する童話「カカ・ムラドと魔法の小箱」の2作を1冊にまとめたもの。用水

路建設や医療活動を続けてきた中村さんの考えや、アフガニスタンの人々の思いが詰まっている。

●『カカ・ムラド~ナカムラのおじさん』

ガフワラ 原著、さだまさし ほか訳文/双葉社 1,650円(税込み)



読者
プレゼント
詳細は
p.38へ

映画の新着情報

『ある人質 生還までの398日』

けがのために体操選手の道を断念したダニエルは、夢だった写真家に転身。戦下の日常を撮影するため、シリアの非戦闘地域を訪れる。しかし現地の情勢が変わり、彼は突然過激派組織IS

(イスラム国)に誘拐され、家族にも巨額の身代金が請求されることになる——。奇跡的に生還するまでの398日間を追った実話には、家族愛と人間の尊厳について考えさせられる。

●『ある人質 生還までの398日』

2019年/デンマーク、スウェーデン、ノルウェー/138分
監督:ニールス・アルデン・オブレグ、アナス・W・ヘアテルセン
配給:ハビネット

2月19日より、ヒューマントラストシネマ渋谷、角川シネマ有楽町ほか全国で公開。



© TOOLBOX FILM / FILM I VÄST / CINENIC FILM / HUMMELFILM 2019

JICA関西(オンライン)

オンラインでつながる 関西とウガンダ

2月18日(木)



泉佐野市訪問団がウガンダを訪問した際に受けた、歓迎セレモニーのダンスの様子。

●JICA関西発リモートツアー 第3弾 ウガンダ×泉佐野市

日時:2021年2月18日(木)18:30~20:30
会場:オンライン上(ZOOM使用)

参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA関西まで。

申し込み、
詳細はこちら



ホストタウンとは、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に、日本の地方自治体が大会参加国や地域との交流を深める取り組みのこと。JICA関西では関西圏のホストタウンを盛り上げようと相手国を知るためのイベントを定期的に開催。今回は泉佐野市(大阪府)がホストタウンに登録しているウガンダに焦点をあてる。同国出身でICT技術を利用したシステム開発の研究を行う大学院生や、同国で活動していたJICA海外協力隊員から話を聞く。

JICA関西(オンライン)

2月20日(土) コーヒーから知る中米の魅力

中米5か国(コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア)をテーマに国際協力入門セミナーを開催する。第1部では中米を専門とする大学教員から中米の政治や経済の話聞く。第2部では現在、日本で中米のコーヒーの輸入販売事業を手掛けるJICA海外協力隊経験者3名によるパネルトークが行われる。

●喫茶カリブ ~コーヒーから知る、中米の魅力~

日時:2021年2月20日(土)13:00~15:10
会場:オンライン上(ZOOM使用)

参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA関西まで。

申し込み、
詳細はこちら



JICA北海道(帯広)(オンライン参加も可)

湿地について理解を深めよう 2月21日(日)

北海道で湿地の自然を守る団体「釧路国際ウェットランドセンター」と共同でイベントを開催する。釧路湿原ラムサール条約登録40周年記念講演をはじめ、イランの人たちによる湿地についての話や、国際協力の仕事に関する体験談、教員向けの国際理解教材活用のためのワークショップなどさまざまなプログラムを用意。会場ではパネルや民族衣装の展示のほか「湿地のいきものをクラフトで作ろう」展も同時開催する。



2019年のイベントの様子。

●Go To ウェットランド! 湿地のいきものは地球の家族 ラムサール条約登録40周年記念 「世界の人々と湿地について話そう」

日時:2021年2月21日(日)10:00~17:00
会場:釧路市中央図書館
(多目的ホール、学習室1、学習室2)
北海道釧路市北大通10-2-1
または、オンライン上(ZOOM使用)

参加費無料、展示ブース以外は要事前申し込み。
詳細はJICA北海道(帯広)まで。

申し込み、
詳細はこちら



JICA東京(オンライン)

JICA海外協力隊の活動を知ろう

●JICA東京オンラインセミナー ~シリーズ世界に挑むJICA海外協力隊~

日時:2021年2月20日(土)10:00~12:30
3月13日(土)14:30~17:00
会場:オンライン上(ZOOM使用)

参加費無料、要事前申し込み。
詳細はJICA東京まで。



JICA東京では、定期的にJICA海外協力隊を知ってもらうためのオンラインイベントを開催している。さまざまな職種や国で活動したJICA海外協力隊経験者が登壇し、経験談とその後の活動についてパネルディスカッションを行う。2月20日は公共・公益事業、3月13日は食と環境がテーマで、個別相談や質問も可能だ。



ホンジュラスの学校で健康講座を行う隊員。